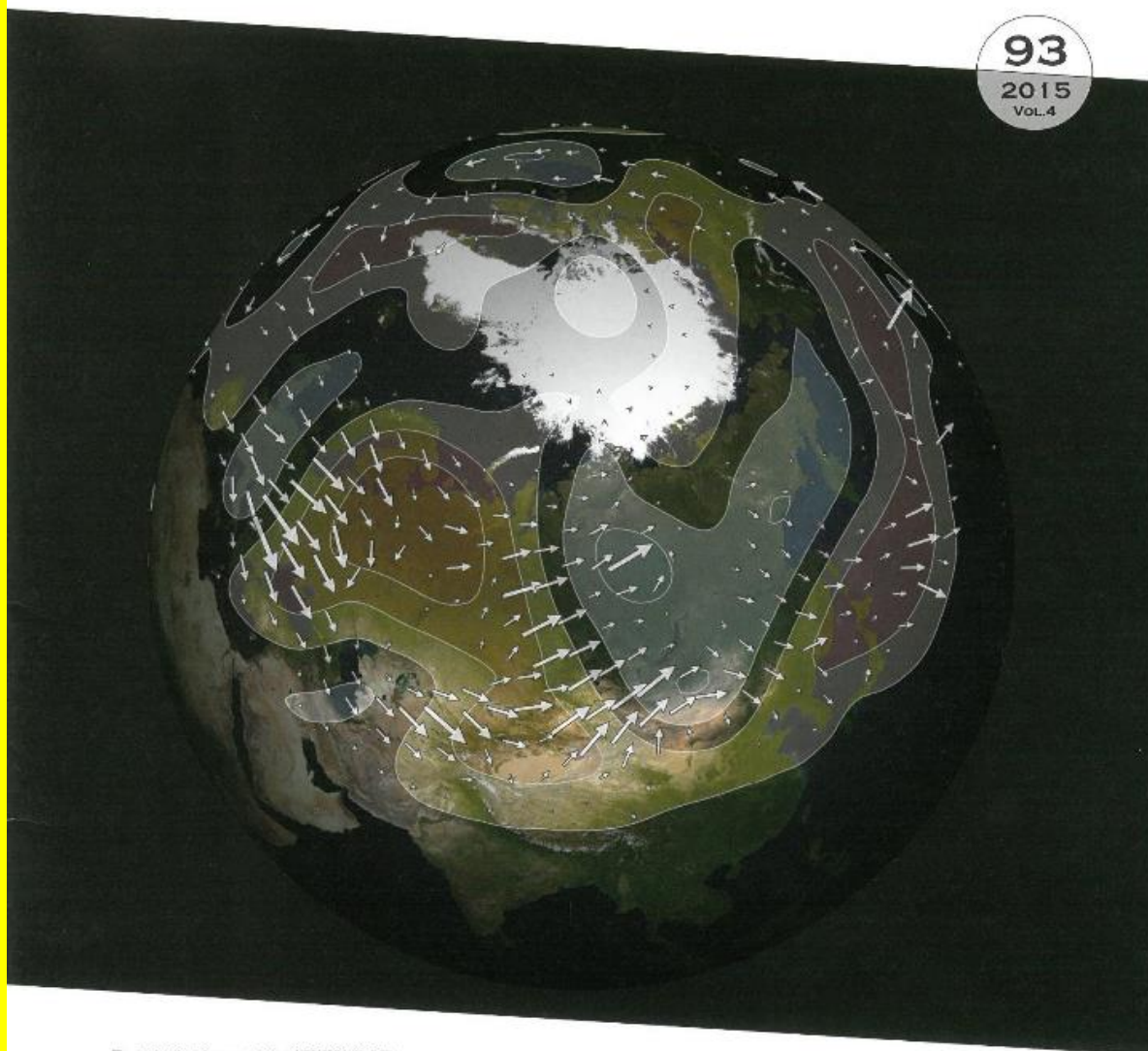


夏休みに実施した先端研リサーチツアー（8月6日）が、
東京大学先端科学技術研究センター発行のRCAST（先端研）ニュースに掲載されました。

RCAST

Research Center for Advanced Science and Technology NEWS

93
2015
VOL.4



RCAST Cross Talk 産研協学 第8回

スピリット・オブ・サイエンス

石北 央 教授 × 神崎 亮平 教授

先端研探検団II file 14

“疑似地球”で気候の揺らぎを探る

気候変動科学 中村・小坂研究室

Relay Essay 先端とは何か 第17回

先端とは時間との闘いである？

マクロ経済分析 新谷 元嗣 教授

輝け！ 未来の先端人

関 元昭 さん

先端研リサーチツアーに 岐阜県立関高等学校ほか参加

8月6日、猛暑の中、岐阜県立関高等学校が先端研リサーチツアーに参加しました。神崎亮平副所長が先端研の概要説明と簡単な研究紹介を行った後、御厨貴客員教授、巖淵守准教授による講義が行われました。

御厨貴客員教授(情報文化社会)は、記憶と語りによって歴史を残すオーラルヒストリーを、歴史や政治的な背景を盛り込みながら紹介。質疑応答では、18歳選挙権や現在の政治についてなどの質問が相次ぎました。巖淵守准教授(支援情報システム)は「障害とテクノロジー」をテーマに、好きなエリアをスイッチに設定し、重度障害のある方のコミュニケーション支援を行う「どこでもスイッチ」のデモを実施。全員が一斉に身を乗り出して見入る姿が印象的でした。このほか、9月10日には群馬県立高崎高等学校の47名、10月8日には島根県立益田高等学校の24名が、リサーチツアーに参加しました。



▲岐阜県立関高等学校のみなさん